

薬 剤 名 ● 種 類 ○ 商 品 名	対象作物	剤型	有 効 成 分 および含有率	委託者名	担 当 場 所 ()内自主試験	試験の種類；処理 方法；処理時期； 散布薬量	新継 の別 今回 判定	判 定 理 由 また は 内 容
アルギフェ ート (つづき) ● _____ ○ _____					川分場，山口大 島柑試，〔愛媛果 試〕，〔徳島果試〕， 福岡園試，佐賀 果試，宮崎総農 試，〔鹿児島果 試〕。	別散布；7月，8 月，9月，10月各 1日に各1回処理 及び9月20日，10 月1日の2回処理 ；0, 250, 500 ppm.		
11. ACP- 68-250 ● _____ ○ _____	晩かん類 〔ボンカ ン，タ ンカン， キンカ ン等〕	液	2-クロロエチ チルホスホン酸 10%	2,4-D 協 議 会 〔事務局： 日産化 学工業〕	鹿児島農試大島 支場，沖縄農試 名護支場，鹿児 島大学。	適用性試験；立木 全面散布；10月下 旬～11月上旬；100 ～200ppm(成分) を200～300l /10a.	継 実・継	実：〔沖縄・奄 美大島に限り〕 〔ボンカン・タ ンカン〕着色 始期，〔ホタル ジツ期〕100 ppm，立木全 面散布。 継：散布液量， 適用地域拡大 〔キンカン〕の 検討。

昭和52年度リンゴ関係除草剤・ 生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会技術部

昭和52年度リンゴ関係委託試験成績検討会は，
昭和53年2月24日(金)，岩手県職員共済会館に
おいて試験場関係者および委託関係者等約50名
参集のもとに開催された。

除草剤6薬剤合計38点，生育調節剤8薬剤合計
22点について，各試験場担当者の報告，その質
疑応答ならびに慎重な検討がなされた。

その判定結果は，次のとおりである。

当検討会では，昭和51年度秋冬処理も含めて，

昭和52年度 リンゴ関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定表

A 除 草 剤

薬 剤 名 ● 種 類 ○ 商 品 名	剤型	有 効 成 分 および含有率	委託者名	担 当 場 所	対象草種	試験の種類；処理 方法；処理時期； 散布薬量	新継 の別 今回 判定	判 定 理 由 また は 内 容
1. CG-116 ● (CAT・	水和	CAT：2-クロ ル-4,6-ビ	日本チバ ガイギー	北海道道南農試， 青森りんご試，	一年生イ ネ科広葉	適用性試験，樹園 地一年生雑草全般	継 中止	薬害の危険性大。

薬 剤 名 ○ 種 類 ○ 商 品 名	剤 型	有 効 成 分 お よ び 含 有 率	委 託 者 名	担 当 場 所	対 象 草 種	試験の種類；処理 方法；処理時期； 散布薬量	新 継 の 別	判 定 理 由 ま た は 内 容
							今 回 判 定	
GS-14259) ○ _____		スエチルアミ ノ-8-トリ アジン 25% GS-14259： 2-メトキシ -4-エチル アミノ-6- tert-ブチル アミノ-8- トリアジン 2.5%		岩手園試，山形 園試，長野農総 試果試。	雑草。	樹園地への適用性 の検討；茎葉兼土 壌処理；春草（5 月）…草丈20cm 以下，夏草（7月） …草丈30cm 以下 （いずれも早目に 処理する）；7.5， 100，150g/a （15～20l/a）.展着 剤加用，雑草に充 分付着するように 散布する。		
2. CG-116 • (CAT・ GS-14259) ○ _____	水和	同 上	日本チバ ガイギー	果試盛岡支場， 富山農試魚津果 樹分場。	1年生イ ネ科広葉 雑草。	葉害試験，リンゴ 樹に対する葉害； 土壌処理：①春（5 月）および夏（7 月）の2回連用， ②春（5月）； ①300+300g/a （2倍量2回処理）， ②750g/a（5倍 量1回処理<15 ～20l/a>）。		
3. DBN • DBN ○ カソロン 粒剤 6.7%	粒	2,6-ジクロロ ベンゾニトリル 6.7%	兼 商， 北興化学 工 業	北海道中央農試， 青森畑作園試， 宮城園試，富山 農試魚津果樹分 場。	リンゴ園 一般雑草 （特に宿 根草）	適用性試験，樹園 地1年生雑草およ びヨモギ，ギンギ ン等多年生；土壌 処理；春期；雑草 発生直前～発芽初 期，4月中旬まで に処理する，400， 500，600g/a。	継 中 止	（連用は出来な い，スポット 処理） 〔全面処理〕 葉害の危険性 大。
4. DBN • 同 上 ○ 同 上	粒	同 上	同 上	岩手園試，群馬 園試北部試験地， 岩手大学，長野 農総試果試。	（同上）	葉害試験，わい性 台木園への適用性 および葉害〔2年 目〕について；土 壌処理；①春，夏 連用 ②春1回； ①1,200+1,200 g/a（2倍量2 回処理）， ②3,000g/a（5 倍量1回処理）。		
5. EH-275	粒	DCMU：3-（3，	丸和バイ	青森畑作園試，	一年生雑	適用性試験，樹園	継	葉害の危険性あ

薬 剤 名 名 ○ 種 類 ○ 商 品 名	剤 型	有 効 成 分 お よ び 含 有 率	委 託 者 名	担 当 場 所	対 象 草 種	試験の種類；処理 方法；処理時期； 散布薬量	新 継 の 別 今 回 判 定	判 定 理 由 ま た は 内 容
EH-275 (つづき) ● DCMU・ ターバシル ○ゾーバー 粒剤		4-ジクロロ フェニル)- 1,1-ジメチ ル尿素 1.25% ターバシル；3- tert-ブチル -5-クロロ -6-メチル ウラシル 1.25%	オケミカ ル	秋田果試，山形 園試。	草	地一年生雑草全般， 成木・清耕園への 適用性；土壌処理 ；春期（雑草発芽 前～発芽始期），東 北では，4月中～ 下旬まで；600， 800，1000g/a. 対照…ゾーバー水 和剤 30g/a.	継 継？	り（火山灰でも 薬害出たことが 問題），低薬量 では効果が劣る。
6. EH-275 ● DCMU・ ターバシル ○ゾーバー 粒剤	粒	DCMU：3-(3, 4-ジクロロ フェニル)- 1,1-ジメチ ル尿素 1.25% ターバシル：3 -tert-ブチ ル-5-クロ ロ-6-メチ ルウラシル 1.25%	丸和バイ オケミカ ル	果試，盛岡支場 青森りんご試。	一年生一 般雑草	薬害試験；土壌処 理；①春，夏連用 ②春1回； ①2+2kg/a(2 倍量2回処理) ②5kg/a(5倍量 1回処理)。		
7. MCP・ DCMU・ DPA ● MCP・ DCMU・ DPA ○ポミカル DM水和 剤	水和	MCP：2-メ チル-4-ク ロルフェノキ シ酢酸 13.5% DCMU：3-(3, 4-ジクロル フェニル)- 1,1-ジメチ ル尿素 15.0% DPA：2,2- ジクロルプロ ピオン酸ナト リウム 45.0%	石原産業	果試盛岡支場， 秋田果試，石川 農試。	リンゴ園 一般雑草	適用性試験，樹園 地一年生雑草全般 ；茎葉処理；春季 ；夏季雑草生育期 （草丈30cm以下） ；100，150g/a <15l/a>。 対照；ゾーバー水 和剤20g/a。 雑草茎葉が充分ぬ れるよう散布する。	継 実・継	実：1kg/10a. 春，夏季茎葉 処理。 （但し，宿根 草およびイネ 科の特にオー チャード，ナ ガハグサなど に効果劣る） 継：薬害につい て砂土など透 水性の高い土 壌での検討， 幼令樹に対す る検討。
8. MCP・ DCMU・ DPA ● 同 上 ○ 同 上	水和	同 上	同 上	岩手園試，山形 園試。	（同上）	薬害試験，成木園 の草生栽培におけ る刈取代用剤とし ての効果の確認と 薬害；土壌処理； ①春，夏2回連用， ②春1回；		

薬 剤 名 ● 種 類 ○ 商 品 名	剤 型	有 効 成 分 および 含 有 率	委 託 者 名	担 当 場 所	対 象 草 種	試験の種類; 処理 方法; 処理時期; 散布薬量	新 継 の 別	判 定 理 由 ま た は 内 容
							今 回 判 定	
8. MCP・ DCMU・ DPA (つづき)						①300+300g/a (2倍量, 2回処 理) ②750g/a (5倍 量1回処理) <15l>.		
9. OK-622 ●(パラコート) ○ _____	液	1,1'-ジメチル- 4,4'-ビピリジ ウムジクロリド 24%	大塚化学 薬 品	北海道南農試, 青森りんご試, 秋田果試花輪分 場, 群馬園試北 部試験地.	リンゴ園 一般雑草	適用性試験, 樹園 地下草全般(草生 園刈取代用); 茎葉 処理; 雑草生育期 [春期, 夏期]; 30 ml/a, グラモキ ソンに準ずる.	新 実・継	実: 雑草生育期 (草丈30cm以 下), 0.3l/ 10a茎葉処理. 継: 薬害試験.
10. OK-622 ● 同 上 ○ 同 上	液	同 上	同 上	果試盛岡支場, 群馬園試北部試 験地.	(同上)	薬害試験, グラモ キソンとの比較で 効果確認と薬害に ついて; 土壌処理 ①春, 夏2回連用, ②春(または夏1 回); ①60+60ml/a (2倍量, 2回処 理), ②150ml/a (5 倍量1回).		
11. Suster・ CF-125 ● _____ ○ _____	水和	Suster: N-(2, 4-ジメチル- 5-[(1,1, 1-トリフル オロメチル) サルフォニル] アミノ] フェ ニル) アセト アמיד 20% CF-125; モル ファクチン 混合剤 20%	日産化学 工 業	青森畑作園試, 宮城園試, 秋田 果試花輪分場, 石川農試.	(同上)	適用性試験, 樹園 地下草全般, 果樹 草生園の刈取代用, 草丈伸長抑制(刈取 りの省力効果); 茎葉処理: ①対照 区(通常刈取管理), ②春期草丈10~ 15cm時および1 ヵ月後の2回, ③ 通常の(春期)刈 取第1回直後およ び1ヵ月後の2回, (②の1回目処理 は草丈15cm以前 に行う); 100+ 100g/a [反復処 理] <15l/a>.	(現 地混用) 継 S. 48 継	年次不足, 薬害試験.

B 生育調節剤

薬 剤 名 ● 種 類 ○ 商 品 名	品 種 名	剤 型	有 効 成 分 および 含有率	委託者名	担 当 場 所	試験の種類；処理 方法；処理時期； 散布量	新継 の別 今回 判定	判 定 理 由 また は 内 容
1. CaCO_3 (水和性) ● 炭酸カル シウム ○ クレフ ノン-P	ゴールデン つ が る	粉	CaCO_3 (炭酸カ ルシウム) 95 % 有機ポリマー等 5 %	白石カル シウム	〔ゴールデン〕 秋田果試，富山 農試魚津果樹分 場， 〔つがる〕 青森りんご試， 長野果試，	適用性（実用化） 試験，サビ防止効 果の検討，固着性 増大による効果ア ップ；立木茎葉散 布；〔試験A〕①落 花直後+10日後+ 20日後の3回散布， ②対照…シオノ ックス同時期3回散 布，③対照…無散 布，無袋。 〔試験B〕①落花 直後+10日後の2 回散布+20日後大 袋被袋，②対照… 有袋（通常の小袋 +大袋）；30倍（50 倍）。	継	<ゴールデン> 〔無袋〕中止， 防止効果劣る。 〔小袋省略〕継， 年次不足， <つがる> 〔無袋〕継？効 果劣る。 〔小袋省略〕継： 年次不足，
2. B A ● ベンジル アデニン ○ ビーエー 液剤	デリシャス 系など	液	N^6 -ベンジルア ミノプリン 3 %	クミアイ 化学工業	果試盛岡支場， 青森りんご試， 長野果試，	適用性試験，幼木 の側発芽促進効果 ；立木茎葉散布； 新梢伸長停止期6 月上旬，6月下旬 それぞれ各1回散 布；100, 200, 300 ppm， 対照…無散布，展 着剤不用，	継 実・継	〔高木のフェザ ー発生促進〕 実：（新梢40～ 50cm）6月 中旬，200～ 300ppm，品 種ふじ， 継：散布濃度， 時期，品種間 差異について，
3. B-995 ● アミノサ イド ○ ビーナイ ン水溶剤 80 %	つ が る	水溶	N-（ジメチル アミノ）-スク シンアミド酸 80 %	日本曹達	青森りんご試， 福島園試，長野 果試，	適用性試験，収穫 前落果防止効果の 確認；葉面散布； 満開後3～4週間 （可能ならば後期 散布も行う）。 対照…①NAA剤 2回散布（落葉時）， ②無散布；1000， 2000倍，展着剤 （ラビデン）加用； 5000倍，	新 実・継	実：満開4週間 後1000～2000 倍，他の注意 は，スターキ ングに準ずる。 継：同一樹の年 度間差，連用 （小玉になる ？），年次変動 （効果確認）， 散布時期，
4. B-995 ● 同 上 ○ 同 上	スターキ ング （無袋 栽培）	水溶	N-（ジメチル アミノ）-スク シンアミド酸 80 %	日本曹達	青森りんご試， 秋田果試，山形 園試，	薬害試験，B-ナ インと銅剤による 薬害有無；茎葉散 布；B-9散布後	継 継	薬害の再検討，

薬 剤 名 ● 種 類 ○ 商 品 名	品 種 名	剤 型	有 効 成 分 および含有率	委託者名	担 当 場 所 () 内自主試験	試験の種類；処理 方法；処理時期； 散布薬量	新継 の別	判 定 理 由 または 内容
							今回 判定	
4. B-995 (つづき)						1日, 3日, 7日 の各時期にボルドー または有機銅剤 散布(B-9の散 布は満開3~4週 間後から収穫前45 日までの適当な時 期；①B-9… 2000倍 ②ボルドー または有機銅 剤…慣行, 展着剤 (ラビデン) 加用 ；5000倍。		
5. GR-60 ● _____ ○ _____	スターキ ング, つ が る	水和	未 公 開	兼 商	〔スターキング〕 果試盛岡支場, 山形園試。 〔つがる〕長野 農総試果試,(富 山農試魚津果樹 分場)。	基礎試験, 落果防 止(効果, 薬害, 処理時期, 濃度； 立木茎葉散布；① 1回散布；収穫前 25日+15日；50, (100)ppm, 〔無散布区も設け る〕, 比較(対照) …ヒオモン2回散 布。	新 中止	効果なし。
6. J-455 ● _____ ○ _____	スターキ ング	乳	5-クロロイン ダゾール酢酸 エチルエステル 20%	日産化学 工 業	(果試盛岡支場), 青森畑作園試, 宮城園試, 秋田 果試, 長野農総 試果試。	適用性試験, 落果 防止(処理時期, 濃度変更による効 果の検討)；茎葉全 面散布； ①収穫20日前10~ 5日前2回散布 …50ppm, ②同上…100ppm, ③収穫20日前1回 散布…100ppm, ④対照…NAA剤 2回散布。 ⑤対照…無散布。	継 中止	効果なし。
7. SLG- 552 ● _____ ○ _____	スターキ ング	液	未 公 開 10%	石原産業	岩手園試, 福島 園試。	作用性試験, 落果 防止剤としての利 用性確立と品質の 検討；立木(茎葉 果実)全面散布； 収穫前25, 15日2 回散布；10, 20, 30ppm, 対照…①	新 継	年次不足。

薬 剤 名 ・ 種 類 ・ 商 品 名	品 種 名	剤 型	有 効 成 分 および含有率	委託者名	担 当 場 所 () 内自主試験	試験の種類；処理 方法；処理時期； 散布薬量	新継 の別 今回 判定	判 定 理 由 また は 内 容
7. S L G - 552 (つづき)						同時期N A A 剤 2 回散布， ②無散布，非イオ ン系展着剤加用。		
8. S-3151 ・(殺虫剤) ○(アデオン)		乳	3-フェノキシ ベンジル-2,2- ジメチル-3- (2,2-ジク ロロビニル)シ クロプロパン- 1-カルボキシ レート 20%	住友化学 工 業	長野果試。	適用性試験，生理 落果（ジュン・ ドロップ）防止効 果の検討。	新 中止	ジュンドロップ 防止効果なし。

C. 除草剤追加（S. 51 秋冬処理）

1. DBN ・ DBN ○カソロン		粒	2,6-ジクロロ ベンジニトリル 6.7%	兼 商 北興化学 工 業	北海道中央農試， 青森りんご試， 山形農試，福島 農試，長野果試。	適用性試験，秋処 理による翌春の刈 取代用と残効性， 薬害の検討；秋季 10月下旬～11月下 旬（積雪前迄）； 500, 600, 800g /a.	継 中止	〔全面処理〕 薬害の危険性大。
2. EH-275 ・ターバシル ・DCMU ○ゾーバー 粒剤		粒	EH-275 粒剤 2.5%	丸和バイ オケミカル	青森りんご試。	適用性試験，効果 と薬害について； 秋期，300, (400), 600g/a.	新 中止	効果なし

DPA・MCP・DCMU(45・15・15%) 水和剤（休耕田用）の判定結果について

財団法人 日本植物調節剤研究協会技術部

去る2月23日当協会専門調査委員会において，休耕田用除草剤として昭和46年度に試験実施され，その判定が保留されていたDPA・MCP・DCMU水和剤につき再審査した結果，下記の判定，使用基準が作成されたので，ここに報告する。

判定結果……「実・継」

使用基準

適 用 場 所	適 用 雑 草	適用地帯	適用土壌	使用時期	10 ^{アール} 当使用量	10 ^{アール} 当 散布液量	使 用 方 法
連 年 休 耕 田	畑地水田1年生イネ科 及びイネ科，セリ科	全 域	砂 壌 土	4月～9月	1.0～ 1.5kg	100～ 150	散布機で雑草及び 地表面が充分濡れ るように散布する。
隔 年 休 耕 田	多年生雑草。		塩 土	4月～7月	(1～2回)		

今後の課題

1. 効果，次作物への影響（隔年休耕田）についての確認。
2. 秋冬作（作物種類と散布時期）についての検討。